

(別記様式5)

群馬県教育委員会指定管理者評価委員会の令和3年度評価結果概要

1 評価委員会の概要

(1) 評価対象施設

施設名	指定管理者名	指定期間
群馬県青少年会館	(公財)群馬県青少年育成事業団	5年間

(2) 評価委員の構成(五十音順)

委員名	役職等	備考
松村 純子	国立赤城青少年交流の家 所長	委員長
村上 祐介	公益財団法人ぐんまYMCA 代表理事	
今井 美砂	吉井公民館、前・社会教育委員	
田子 宏美	税理士・中小企業診断士	
猿谷 直樹	弁護士	

(3) 評価委員会の開催状況

回数	日時	場所	内容
第1回	令和4年7月26日	群馬県青少年会館	現地調査及びヒアリング、委員会評価とりまとめ

2 評価結果

(1) 評価基準

A (優良)	・事業計画、仕様書等の内容を上回る成果、実績がある。 又は ・おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績があり、かつ、施設の設置目的及び指定管理業務の目的達成に向けて非常に努力している。
B (良好)	・おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績がある。 又は ・成果、実績が事業計画、仕様書等の内容を一部下回っているが、サービス向上のための取組や課題等の改善を積極的に行っている。
C (要努力)	・おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績は出ているが、管理運営に一部適正を欠く事項がある、又は積極的な取組が不足している。 又は ・管理運営において工夫改善の必要な事項が散見される。
D (要改善)	・事業計画、仕様書等の内容の重大な不履行がある、又は非常に不適切な管理運営が見られる。

(2) 評価結果一覧

施設名	青少年会館	
総合評価	B	
評価項目	管理運営体制	B
	法令遵守等	A
	施設等維持管理	B
	サービス提供内容	B
	サービス向上の取り組み	C

※ 評価項目は施設及び利用の形態に応じて、評価委員会において定める。

(3) 施設ごとの結果概要

ア (群馬県青少年会館) 総合評価

総合評価の考え方	県民にとって、地域にとって無くてはならない存在になっているか疑問がある。柔軟な発想と工夫によりWithコロナ時代に合った事業の充実を目指す必要がある。
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・会館利用団体と一緒に整備活動を行うことは有意義。 ・職員の対応について利用者の評価は高い。 ・施設は古いが適切に維持管理されている。
改善すべき点	<p>【広報・利用促進】 昨年度よりSNSの更新頻度は増えているものの、未だ更新頻度は少ない。若い世代向けのSNSを充実させるなど、利用者増に向けた効果的な広報が必要。誰に何を広報したいかを明確にすると同時に登録数・閲覧数もしくは更新回数等一つでも数値目標を自ら定めて取り組む必要がある。</p> <p>【青少年健全育成事業】 創意工夫により新たな事業に取り組もうとする姿勢が見えない。Withコロナ時代に合った利用者ニーズを把握し、<u>有効な事業</u>を増やしていく必要がある。アンケートから具体的な事業改善ができるように、事業アンケート項目を改善する必要がある。</p>

・施設等維持管理に関する細目評価結果

項目	施設等 維持管理 全般	細目					
		保守点検	植栽管理	備品管理	清掃	修繕	安全確保
評価	B	A	A	B	A	B	B

※ 細目は施設及び利用の形態に応じて、評価委員会において定める。
 (例)建物、施設別(○○棟、○○広場等)、業務の性質別(清掃、施設修繕、植栽管理等)

・サービスの提供内容に関する細目評価結果

項目	サービス 提供内容 全般	細目				
		案内表示	接遇	広報・利用促進	苦情・要望対応	青少年健全 育成事業
評価	B	A	A	C	B	C

※ 細目は施設及び利用の形態に応じて、評価委員会において定める。
 (例)場所別(受付、案内表示、解説、展示内容等)、業務の性質別(○○事業、○○相談等)